



新型コロナウイルス感染症に関連する人権への配慮について

全国的な新型コロナウイルス感染症の流行の中、感染した人やその家族、医療機関の関係者、特定の国の人、海外から帰国された人などに対して、誤った情報や不確かな情報による差別、偏見、いじめや、インターネットで根拠のない差別的な書き込みが広がっています。

また、緊急事態宣言に伴う外出自粛や休業の要請に応じない店などを激しく攻撃する行為は「自粛警察」と呼ばれ、商店等に対して、自粛要請をする張り紙や他県ナンバーに対する嫌がらせなど、偏った正義感で私的に取り締まりや攻撃を行う行為が全国で相次ぎました。

ウイルス感染は誰にでも起こり得ることであり、感染した人は社会全体で守るべき対象です。その治療や看護に従事している医療関係者の人たちへは感謝の気持ちを伝えたいものです。

新型コロナウイルスの流行による経済や教育の停滞等、不安な気持ちになる事が多い今だからこそ、誤った認識や不確かな情報に惑わされて人権侵害につながる事がないよう、人権に配慮した行動を考えていきましょう。

社会を支えるのは私達一人ひとりの意識です。

人権チェックをしてみよう!

お家で過ごす時間が多い今、日常生活における人権チェック〜家庭版〜をしてみましょう。次の各文を読んで、「はい」か「いいえ」に○をつけ、普段の生活を見つめ直してみよう。



人権チェック ～ 家庭版 ～

- | | |
|---|--------|
| 1. 自分以外の家族あてに送付された郵便物や電子メール、携帯電話の履歴等を勝手に見ないようにしている。 | はい・いいえ |
| 2. 子どもの意見（進学、就職、結婚についてなど）を無視したり、「あの子とは遊ばないようにしなさい」と子どもの交友関係を妨げたりせず、子どもの意見を尊重している。 | はい・いいえ |
| 3. 「男の子なんだからしっかりしなさい。」「女の子なんだからお手伝いしなさい。」など、男はこうあるべき、女はこうあるべきと決めつけた発言をしないようにしている。 | はい・いいえ |
| 4. 「高齢者だから」という理由だけで、「もう年なんだからあまり外を出歩かないで。」など、一方的に制限を加えたりせず、高齢者の意見を尊重している。 | はい・いいえ |
| 5. 掃除、洗濯、食事のしたく・片付け、ゴミ出し等の家事や地域活動への参加など、性別・年齢に関係なく家族の一員として、協力している。 | はい・いいえ |

さて、あなたの家庭では何個「はい」があったでしょう？